

# ベテラン教員研修講座

## ～校内研修編～

茨城県教育研修センター  
教職教育課  
☎0296-78-3212 (直通)  
平成31年2月14日発行



### 研修を受けたベテラン教員が 校内研修のリーダーに！



県教育研修センターでの集合研修の後、ベテラン教員研修講座を受けた先生方が、勤務校で研修講師を務め、校内研修を行っています。ベテラン教員が研修講師として研修内容を企画・運営することにより、学校全体の教職員の意識の高まりも期待しています。当センターでは、指導主事が学校の校内研修を参観させていただき、今後の研修講座の改善に結び付け、さらによりよい研修にしていきたいと考えています。小学校・中学校2校ずつ、高等学校・特別支援学校1校ずつを訪問しました。ここでは、訪問した6校を御紹介します。ぜひ、自校の校内研修の参考にしてください。

#### 鉾田市立鉾田北小学校

講義・演習を通して「プログラミング教育」について、理解を深めるとともに、各自が抱えている不安を解消することが研修の目的です。本校の情報教育の支援にあたっている業者((株)東洋計測)と事前に何度も打ち合わせを行い、先生たちにとって必要な内容のものを行いました。「プログラミング教育」についての説明では、プレゼンテーションソフトを使い、分かりやすく説明しました。

- ・プログラミング的思考は、国語の順序立てて考える方法や、算数のかけ算等に通じると思いました。
- ・小学校の低学年でも、簡単なソフトがあり使っていきたいです。
- ・校長がグランドデザインを大事にしている、教職員に対してわかりやすく示しています。そのため教育目標を達成するために、私たちはどんな校内研修をすればいいかが明確です。



▲小牧友美先生 丹郁也先生 大野勝二先生

#### 大洗町立南小学校



▲独立行政法人教職員支援機構の「校内研修シリーズ」の動画を使用している様子

自校の職員を対象に研修を立案することを通し、研修で学んだことを振り返り、自分自身のこととして再び考える機会となりました。年齢や経験年数の異なる職員同士が話し合う中で、学びが深まりました。

ベテラン教員研修講座の資料をもとに、「教職員の信用失墜行為の事例」、「教員の生活設計」、「学校の危機管理」を中心に、同僚にわかりやすく伝えました。資料をもとに説明後、ワークシートを用いて演習を行うことができました。

研修内容を焦点化し、要点を押さえることが、自分としてもよい研修になりました。コンプライアンス、学校の危機管理については、今後も日常の話題として取り上げ、常に意識の高い状態を保っていきたいです。



▲曾根博美先生

▲麦山岳男先生

#### <受講した教職員の感想>

- ・教員としての自覚をさらに高めて、職務に努めていきたいと思った。教育活動全てにおいて、児童の安全を確保するためにも、常に職員が一体となり危機感をもって職務に従事していきたいです。
- ・行事の運営・児童への指導は、ついつい効率を優先してしまうことがあります。今回の研修では、私自身が改めて安全をどのように意識していくことが重要かを考えることができました。
- ・今回の研修を通して、教職員の信用失墜行為やリスクマネジメント等について改めて深く考える機会となり、気が引き締められました。今後も慣れに甘んじることなく日々研修をしながら真摯に職務に取り組んでいこうと思います。
- ・危機管理やライフプランニングについて短い時間で幅広く学ぶことができました。危機管理については、多くの教職員の目で見守るの必要を感じました。忙しくても教職員同士でのコミュニケーションを大切にしていきたいです。
- ・信用失墜行為に関して、心のどこかで自分には関係がないと思っていたところがありました。同僚からの講義により、自分のことだと思って意識することができました。危機管理に関しては、自分で判断できるように普段から様々な状況を想定して対応できるようにしたいです。



## 筑西市立下館西中学校

### 伝達講習

ベテラン研修「教職員の信用失墜行為の事例」の講義資料の一部（懲戒処分件数のグラフ）を提示しました。（樋山輝久先生）

### 演習

不祥事の原因別分類表を配付し、考えられる不祥事とその不祥事を起こさないための具体策をワークシートに記入しました。（穴戸英子先生）



▲グループで協議したことを、付せんに入れて記入し、模造紙に張り出し、全体でコンプライアンスの遵守について考える様子

### <受講した教職員の感想>

- ・不祥事が起こるには、様々な要因があることが分かりました。自分も持っている特性や同僚の先生も持っている特性をよく理解し、互いにサポートしあっていく必要があると思いました。
- ・定期的にコンプライアンス研修を行うと、振り返る場になり刺激にもなります。自分だけは大丈夫と思いがちです。しかし、みんなで声をかけ合って気を付けていけるようにしたり、気軽に相談できたりできる職場環境にしていきたいです。



## 県立土浦工業高等学校



▲「学校のリスクマネジメントワークブック」（時事通信社）を活用して、研修をしている様子

- ・学校の危機管理を「自分事」として考えて行った。研修の内容は、参加者の皆さんに浸透したと思います。ただし今回で終わりではなくて、毎年行っていくことで、理解が深まっていくと考えます。
- ・WBGT（暑さ指数）を語るだけでは実感が無いので、実物を投影しました。



講義「学校の危機管理」の後、三つの演習課題を全員に提示しました。参加者全体を三つの大きなグループに分け、それぞれのグループに一つの課題の対応方法を検討してもらいました。それぞれのグループが検討した課題は一つですが、他のグループの発表を聴くことによって、他の二つの課題の対応法を考えられるように工夫しました。（阿部圭二先生、吉田英明先生、柴田泰先生、鎌田圭二先生）



## 日立市立十王中学校

ベテラン教員研修講座の講義、「これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導」「カリキュラム・マネジメントの推進」について、内容をまとめたパワーポイントやNITSの動画を用いて説明しました。



▲宮本賢一先生

十王中の生徒に伸ばしたい資質・能力の重点は「表現力」であることから、教科横断的のどのように取り組むか、班別に協議するよう説明しました。

### <受講者の感想>

各教科の特性をよく考えた上で、全職員で育てたい生徒の姿を考えることができました。深い学びへと生徒を導くために、何を理解しているか、何ができるかといった知識・技能を大切に、各教科において見方・考え方を働かせながら、本校の課題について教科横断的につなげて取り組むことが必要だと分かりました。



## 県立勝田特別支援学校

講義「学校の危機管理」をもとに、演習を行いました。コンプライアンス違反、リスクマネジメント、保護者の対応、災害発生時の対応などをワークシートを用いて話し合いをしました。同僚の先生からは、「今後に役立てられそうである。風通しのよい雰囲気づくりが大切であることを実感できた。」という感想がありました。

▲生島まどか先生 吉森初恵先生 片田博史先生

- ・ベテラン教員三人で協力しながら立案・運営を行いました。自らの、危機管理やコンプライアンスに対する意識が上がりました。安全・安心な学校づくりに役立てていきたいです。
- ・ベテラン教員研修全体を通して、最新情報を知ることができました。自らの学ぶ意欲が高まったことを感じます。この気持ちを大切にして、新しい情報や知識を学び続け、子どもたちを守り、自分たちを守ることに努めたいです。

